

平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月4日

上場会社名 株式会社免疫生物研究所
 コード番号 4570 URL <http://www.ibl-japan.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 清藤 勉
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役事業統括推進本部長 (氏名) 中川 正人
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

上場取引所 東

TEL 0274-22-2889

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	350	29.2	△97	—	△108	—	△111	—
28年3月期第2四半期	271	△4.9	△109	—	△106	—	△39	—

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 △111百万円 (—%) 28年3月期第2四半期 △39百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
29年3月期第2四半期	△15.37	—	—	—
28年3月期第2四半期	△6.05	—	—	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	4,056	—	3,223	—	—	79.4
28年3月期	3,356	—	2,786	—	—	82.8

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 3,221百万円 28年3月期 2,780百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円
通期	800	11.5	△180	—	△180	—	△190	—	△28.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

当社の業績予想は、「中期経営計画」をベースに作成しており、その達成(施策等)においては、年間を通して評価を行っております。そのため、業績予想は通期業績予想値のみを開示いたしました。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年3月期2Q	7,292,590 株	28年3月期	6,752,590 株
② 期末自己株式数	29年3月期2Q	1,130 株	28年3月期	1,130 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	29年3月期2Q	7,233,317 株	28年3月期2Q	6,546,489 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7

※当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布した資料については、開催後速やかに当社ホームページで掲載する予定です。

・平成28年11月17日（木）・・・・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループのセグメント別の業績は、下記のとおりとなりました。

・診断・試薬事業

研究用関連において、当社の主力製品である抗体関連試薬の売上高は、海外販売において円高等の影響による減少要因がありましたが、国内外の販売数の増加により順調に推移しております。また、受託サービスの売上高は、積極的に直接ユーザーへ販売活動を実施することによりユーザーのニーズをくみ取り、前年に比べ大幅に増加いたしました。

医薬用関連においては、マイコプラズマ感染症の診断薬原料の販売やアルツハイマー病診断薬原料の海外向け販売が順調に推移いたしました。また、自社製造の動物用体外診断用医薬品の牛海綿状脳症測定キットの販売において、検査対象の減少が見込まれる等の影響により減少いたしました。なお、当事業においては、新規治療薬シーズの開発や体外診断用医薬品の開発を積極的に行っております。

その結果、当セグメントの売上高は254,544千円（前年同期比26.0%増）となり、買戻し処理が影響した前年同期に比べ増加し、営業利益は44,911千円（前年同期比173.4%増）となりました。

・遺伝子組換えカイコ事業

当事業においては、大手動物医薬品企業及び大手体外診断用医薬品企業からの抗体作製受託サービスの売上や共同研究契約先からマイルストーン契約金の収入などが計上されました。

その結果、当セグメントの売上高は50,516千円（前年同期比231.3%増）、営業損失は115,372千円（前年同期は84,106千円の営業損失）となりました。なお、当セグメントにおいては、新たに前橋研究所を稼働し、アステラス製薬株式会社と遺伝子組換えカイコで生産したヒト型フィブリノゲンを原料とした医薬品の製品化へ向けた共同研究や株式会社CUREDが所有する抗HIV抗体を、当社の遺伝子組換えカイコ技術を用いADCC活性を飛躍的に増強させ、HIV感染症を治癒に導く画期的な抗体医薬品の実用化を目指し共同開発等を積極的に進めております。また、株式会社ニッピとの共同研究により開発した、iPS細胞等の培養足場材として有効であるラミニン511-E8フラグメント（ラミニン511-E8）を研究用試薬として販売を開始いたしました。

・検査事業

当事業においては、主力である、ゲルろ過HPLC法を応用したシステムにより、血中リポタンパク質分画の詳細プロファイリングデータを解析する受託サービス（LipoSEARCH）は、前年度に比べ、国内製薬企業からの大型案件が終了したことにより売上高が減少いたしました。また、海外販売につきましては、当期より当社グループを挙げて、本格的に海外の学会展示によるプロモーション活動の展開を開始し、順調に売上高が増加しております。また、動物病院におけるコンパニオン・アニマルの診断支援サービス（LipoTEST）は、動物病院の新規顧客獲得のためのセミナー等の活動が終了したこともあり、受注が伸び悩みました。その結果、当セグメントの売上高は43,477千円（前年同期比9.2%減）、営業損失は18,152千円（前年同期は17,923千円の営業損失）となりました。

・化粧品関連事業

当事業においては、当第2四半期より、効率的な広告活動を展開し新規顧客の獲得を目指しております。また、継続してダイレクトメールや電話によるアウトバウンド等の活動を実施しております。

その結果、当セグメントの売上高は5,319千円（前年同期比20.3%減）、営業損失は8,899千円（前年同期は24,387千円の営業損失）となりました。また、販売網の拡大を目指し、大手量販店への営業活動を行ってまいります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、350,181千円（前年同期比29.2%増）となりました。利益面においては、遺伝子組換えカイコ事業の研究開発等への積極的な投資により、営業損失が97,032千円（前年同期は109,509千円の営業損失）、経常損失が108,466千円（前年同期は106,317千円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失111,191千円（前年同期は39,631千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(財政状態に関する分析)

・資産

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、前連結会計年度末比20.9%増の4,056,440千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

新株予約権の行使及び金融機関からの新規借入による資金調達等より「現金及び預金」が243,556千円増加したこ

と、前橋研究所の新設等により有形固定資産が320,084千円増加したこと、出資により「投資有価証券」が79,800千円増加したこと等によるものであります。

・負債

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は前連結会計年度末比46.2%増加し、833,027千円となりました。この主な要因は次のとおりであります。

金融機関からの新規借入により「1年内返済予定の長期借入金」及び「長期借入金」が264,956千円増加したこと等によるものであります。

・純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は前連結会計年度末比15.7%増の3,223,413千円となりました。

この主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により「繰越利益剰余金」が111,191千円減少したものの、新株予約権の行使により「資本金」及び「資本準備金」がそれぞれ276,077千円増加したこと等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)の残高は前連結会計年度末と比べ209,534千円増加し1,101,450千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

・営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により支出した資金は86,606千円(前年同期比69,048千円の支出の増加)となりました。

資金減少要因として、事業活動が低調たつたことにより税金等調整前四半期純損失を108,466千円計上したことや、「その他」に含まれる未収消費税が77,267千円増加したこと及びたな卸資産が12,692千円増加しております。一方、資金増加要因としては、非資金項目である減価償却費を60,528千円計上したことや、売上債権が32,512千円減少したこと等によるものがあります。

・投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により支出した資金は511,951千円(前年同期比585,985千円の支出の増加)となりました。

この主な要因は、前橋研究所の開設等にかかる有形固定資産の取得による支出が387,583千円発生したことや、出資による投資有価証券の取得による支出が79,800千円発生したこと等によるものであります。

・財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により獲得した資金は810,798千円(前年同期比871,781千円の収入の増加)となりました。

この主な要因は、新株予約権の行使による株式発行による収入が545,847千円、銀行からの新規借入れにより長期借入金が330,000千円増加したことによるもの等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年5月13日付で公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	973,594	1,217,151
受取手形及び売掛金	219,853	187,340
商品及び製品	47,109	51,914
仕掛品	127,505	128,463
原材料及び貯蔵品	99,198	106,128
その他	17,837	94,700
流動資産合計	1,485,099	1,785,698
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	444,906	1,175,740
機械装置及び運搬具(純額)	14,202	105,003
土地	362,687	362,687
建設仮勘定	680,580	-
その他(純額)	71,191	250,220
有形固定資産合計	1,573,567	1,893,651
無形固定資産		
のれん	156,829	152,283
その他	20,977	20,692
無形固定資産合計	177,806	172,975
投資その他の資産		
投資有価証券	55,234	135,034
その他	64,613	69,081
投資その他の資産合計	119,848	204,115
固定資産合計	1,871,222	2,270,742
資産合計	3,356,321	4,056,440
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,877	4,405
1年内返済予定の長期借入金	80,088	146,088
その他	77,884	78,403
流動負債合計	164,850	228,897
固定負債		
長期借入金	203,132	402,088
転換社債型新株予約権付社債	200,000	200,000
その他	1,964	2,041
固定負債合計	405,096	604,129
負債合計	569,946	833,027
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,946,344	2,222,422
資本剰余金	978,724	1,254,802
利益剰余金	△142,520	△253,711
自己株式	△1,990	△1,990
株主資本合計	2,780,558	3,221,523
新株予約権	5,816	1,890
純資産合計	2,786,374	3,223,413
負債純資産合計	3,356,321	4,056,440

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	271,046	350,181
売上原価	101,481	146,563
売上総利益	169,564	203,618
販売費及び一般管理費	279,073	300,651
営業損失(△)	△109,509	△97,032
営業外収益		
受取利息	140	82
受取配当金	-	600
助成金収入	3,285	-
未払配当金除斥益	-	687
その他	1,002	719
営業外収益合計	4,427	2,089
営業外費用		
支払利息	1,097	1,083
新株発行費	-	2,382
為替差損	138	10,043
その他	-	14
営業外費用合計	1,235	13,523
経常損失(△)	△106,317	△108,466
特別利益		
投資有価証券売却益	69,566	-
特別利益合計	69,566	-
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,751	△108,466
法人税、住民税及び事業税	2,880	2,724
法人税等合計	2,880	2,724
四半期純損失(△)	△39,631	△111,191
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△39,631	△111,191

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
四半期純損失(△)	△39,631	△111,191
その他の包括利益		
その他の包括利益合計	-	-
四半期包括利益	△39,631	△111,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△39,631	△111,191
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△36,751	△108,466
減価償却費	36,201	60,528
のれん償却額	4,545	4,545
受取利息及び受取配当金	△140	△682
支払利息	1,097	1,083
為替差損益(△は益)	604	7,891
新株発行費	—	2,382
投資有価証券売却損益(△は益)	△69,566	—
売上債権の増減額(△は増加)	118,461	32,512
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,793	△12,692
仕入債務の増減額(△は減少)	5,623	△2,472
返品調整引当金の増減額(△は減少)	△38,738	—
その他	△27,518	△65,685
小計	△14,974	△81,054
利息及び配当金の受取額	125	649
利息の支払額	△1,076	△1,433
法人税等の支払額	△1,632	△4,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	△17,557	△86,606
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金等の預入による支出	△33,860	△63,566
定期預金等の払戻による収入	—	21,358
有形固定資産の取得による支出	△60,916	△387,583
無形固定資産の取得による支出	△1,231	△2,218
投資有価証券の売却による収入	170,366	—
投資有価証券の取得による支出	—	△79,800
その他	△324	△142
投資活動によるキャッシュ・フロー	74,033	△511,951
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	330,000
長期借入金の返済による支出	△53,364	△65,044
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	545,847
新株予約権の買入消却による支出	△7,551	—
その他	△67	△5
財務活動によるキャッシュ・フロー	△60,983	810,798
現金及び現金同等物に係る換算差額	261	△2,705
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,245	209,534
現金及び現金同等物の期首残高	1,232,210	891,915
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,227,964	1,101,450

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、第2四半期累計期間において新株予約権の行使に伴う新株発行を実施いたしました。この結果、第2四半期連結累計期間において資本金及び資本準備金がそれぞれ276,077千円増加し、第2四半期連結会計期間末において資本金が2,222,422千円、資本剰余金が1,254,802千円となっております。